



～あふれ出る湧き水と瑠璃色の水辺の町～

# 針江・霜降



はりっしも

Harisshimo vol.17 2023 (令和5年). 7

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会

湧き水と自然の町に  
小さな川をつなぐ  
ある

## Message

針江・霜降地域は国の「日本遺産」・「重要文化的景観」の選定を受けています。



## 会長就任のご挨拶

カバタをどうしたいのか  
水辺景観のより良いかたちを模索

■この度、「針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会」の会長の重責を担うことになりました、伊藤です。よろしくお願いいたします。

本会は、針江霜降の水辺景観が国の重要文化的景観の選定を受けて立ち上げた協議会ですので、文化的、学術的な物にはまったく縁のないわたしが会長を引き受けることに少々抵抗感があったのですが、協議会のメンバーに推挙され引き受けることに成りました。

わたくしは、協議会の設立当初に3年間、さらに令和2年度に針江区長として参加して以来4年目になります。昨年度から新たに組みこんで来た調査事業などを粛々と進めたいと思います。

その一つがカバタの再調査です。現在8割方終わることが出来ました。今後調査結果を元にカバタをどうしたいのか、どうあるべきなのかを議論し、より良いかたちを模索したいと思います。

また、カバタを取り巻く水環境である川の水質調査も行っています。過去のデータが無くこれから積み上げていくので5年10年と長期になると思われませんが、これからの環境の変化を見ていくことが本会の重要な役割かと思えます。

今後とも本会に対しご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会  
会長 伊藤 昭



小池川の川遊び

■虫も飛び交う小池川は、夏になると子どもの川遊びの場となります。針江大川とはまた違うこぢんまりとした、趣のある清い川です。

水辺景観 四季の便り

卵の花の匂う垣根に...「夏は来ぬ」  
コイ遡上、ホタル舞う

■霜降では4月9日に、針江では、5月14日に恒例の川掃除が行われました。区民総出の負担も多いこの労役も、最近はたまにしか出会う機会のない区民と一緒に汗を流す貴重な機会となりました。針江・霜降の水辺も、一気に水のはじける夏に向かいます。



湧水が主体で年中ほとんど澄みきった針江・霜降の河川も、ゴールデンウィークあたりから田植えの代掻きの落水で水藻も泥にまみれてしまいますが、この時期は大型のコイやニゴイが大量に遡上してきます。ごぼごぼ音を立てている時もあり、生命の営みの迫力を感じます。特に今年はニゴイが目立ちました。

5月16日には、針江大川上流でホタルが飛び始めました。源氏ホタルです。同日、霜降会議所下流、小池川下流でも飛んでいたという情報が役員から寄せられました。



ホタル乱舞



ニゴイ遡上

はりっしも information  
守る。伝える。活かす。



\*当協議会は、私たちの大切な「水の文化」を「守り、伝え、繋ぐ」活動を進めています。

## 令和5年度 針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会 役員

■今年度より会則の改正に伴い、下記の役員にて活動を推進いたします。新たに伊藤昭さんが会長に就任し、副会長には従来通りの針江・霜降区長に加え、山川隆さんが就任し、3名の役員が加わり活動しております。

- 会長 伊藤 昭
- 副会長 山川 隆
  - ※水田 正彦 (針江区長)
  - 青木 博 (霜降区長)
- 監事 北野 俊朗 海東 弘
- 【針江】足立 亨・高田一雄・高橋正通  
前田豊彦・三宅 進・森田茂之・※森田幸則
- 【霜降】※海東良仁・藤本徳治・山川三津浩  
※新規選出役員
- カバタ調査班 班長：北野 俊朗
- 河川調査班 班長：青木 博
- 文化財調査班 班長 兼 水辺景観資料室  
室長：足立 亨

■カバタの「保存修理」「追加登録」、重要文化的景観の整備活用等のご相談、及び「カバタ調査」「河川調査」「文化財調査」について、お問い合わせは協議会の役員までご連絡ください。

■重要文化的景観に選定された際に重要な構成要素として認定されているカバタ（現在：45件）などを保存修理・修復する場合は、国から経費の補助を受ける制度があります。

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会のインフォメーションがホームページとFacebookで見られます。  
<https://harisshimo.jp/>

